

広報 やさと

平成2年 11 月号
No.425 毎月15日発行

●発行／八郷町役場 ●所在地／茨城県新治郡八郷町柿岡2009の3 〒315-01 ●編集／広報課 ☎ 0299(43)1111 内線116番



“レディー！ゴー、”

“レディー！ゴー、”というかけ声と共に“わっしょ！わっしょ！”と大きな声援が会場いっぱいに……。

10月21日、町民綱引き大会が農業者トレーニングセンターで行われ、小中学生や一般を併せて28チームが出場、えりすぐりの力自慢たちがかけ声と共に技と力を競いました。

皆さんの体力向上と親睦を目的に始まったこの綱引き大会は、今年で3回目。今回は一般の参加が7チームと少なく盛り上がり心配されましたが、その分小中学生の参加が増え、応援団も加わって大変な熱気でした。(成績は13ページに掲載)

主 な 内 容

- 第3回町議会定例会ほか……………2～5P
- 下青柳の“産廃”現場を掘削調査ほか……………6～7P
- 社教のひろば、専門医にきく……………8～9P
- みんなの広場「文芸・クイズほか」……………10～11P
- まちの話題、できごと……………12～13P
- ようこそ八郷の仲間、園芸教室……………14P

◇町の人口(11月1日現在) 男14,712人 女15,033人 計29,745人(前月比+49) 世帯数7,063世帯(前月比+17)

下青柳地内への「産廃」不法投棄

早期解決を目指し議会に特別委員会

九月十四日から九月二十一日まで八日間の会期で、第三回町議会定例会が開かれ、議案十件、請願三件、陳情四件、決議案二件の審議が行われ、請願三件、陳情三件を除いたすべての案件が可決（認定）及び採択されました。なお、議会最終日に下青柳地内へ不法投棄された産業廃棄物に関する調査特別委員会の設置動議があり、全議員の賛成により委員会の設置が決まりました。議案等の主な内容は次のとおりです。

請

願

八郷ビジネスパークに関する

請願（継続審査）

小幡・小桜地区にまたがる通称青田山に「日本ゴルフ振興株式会社」が仮称八郷ビジネスパーク（研修所、スポーツ施設等を含むリゾート開発）を建設したいとの話があり、これに対する建設反対の請願が大字加生野の白田順六郎さんほか三六七名の方から、また、活力ある地域づくりのためにもぜひ推進して欲しいと

旧小桜農協の敷地払い下げに関する請願（継続審査）

八郷農協（組合長木崎真）より請願の

陳

情

大規模養豚場建設反対に関する陳情（継続審査）

平成元年第四回定例会で産業土木委員会に付託され審議されていた大規模養豚

産廃の早期撤去に関する

陳情（継続審査）

小幡・下青柳・小桜・川又の各土地改良区、石岡台土地改良区片野維持管理委員会から陳情のあった「産業廃棄物不法投棄に伴う農業用水確保の陳情」は、教育民生委員会に付託され審議された結果、委員会から「採択すべきと決定した」との報告があり、全員異議なく採択となりました。

産廃不法投棄に伴う農業用水確保の陳情（採択）

場建設に反対する陳情は、委員会より「経営者と新谷集落の話し合いがむずかしいようだが、担当課が中心となって何とか和解できるよう努力されたい。この案件は継続審査にしたい」との報告があり、さらに審議されることになりました。

下青柳の集落（代表高橋信二）から陳情のあった「産業廃棄物の早期撤去の陳情」は、教育民生委員会に付託され、委員会で調査及び審議された結果、委員会から「不法投棄の関係者からは、廃棄物を搬出するが撤去先を見つけて欲しいとの返答を得た。また商工観光課では、県で二カ所ほど撤去先を見つけたので指導していくが、中に何が捨てられているのか掘削を行い調査するとの説明があった。九月二十二日にまた関係者で話し合いが持たれるということでもあり、委員会と



町議会の様子（写真は第1回定例会）

議

案

道路工事の契約に関する議案

しては今後の方向を見極めるためにも継続審査をしたい」との報告があり、この案件はさらに委員会にて審議されることになりました。

（株）日立木材地所が山崎張間地内から南山崎地内にかけて造成中の住宅団地に通じる道路を住宅宅地公共施設整備促進事業という補助事業で行うことになり、この道路改良工事の請負契約に関する議案が提出され可決されました。

道路の総延長は千五百五十五メートル、車道幅員は六メートルで両側に歩道が付けられます。工事の入札は、九月十日、七

社によって指名競争入札が行われ、市村コキヤ・山田建設工事共同企業体（代表市村土建）が落札、落札額八千五百七十六万八千八百円で請負契約するというものです。

町職員の給与と旅費に関する条例を改正

町職員の給与に関する条例の一部及び町職員の旅費に関する条例の全部が改正され、中央公民館の土曜及び日曜・祭日の開館に伴う常勤的な宿日直手当が月額一万三千円から一万五千元に引き上げられ、また職員の出張等にかかる旅費などが実情に合わせて改正されました。

一般会計予算を補正

平成二年度町一般会計の歳入歳出にそれぞれ二億四千五百四十四万円が追加され、予算総額は七十二億八千二百八十八万一千円となりました。

歳入では、地方交付税三百万円、町道飯塚・山崎線舗装新設工事に伴う国庫補助金等二百六十五万五千円、自立農業確立緊急対策事業等県補助金三千七百四十六万円、都市計画策定に伴う基礎調査交付金三百六十万円、前年度繰越金一億九千八百九十九万一千円、雑入の防火水槽移転補償金二百九万四千円などが補正増。

歳出では、八郷ふれあいまつり（産業文化祭、健康まつり等）の事業費三百五十七万七千円、下青柳地内の産業廃棄物不法投棄現場の廃水処理委託料百五十七万二

千円、同廃水の流量調査、水質検査の委託料百六十三万二千円、フラワーパーク施設整備基金積立金五千四百七十七万四千円、自立農業確立緊急対策事業に伴う補助金及び事務費四千四百万円、ふれあいの森整備事業工事費等六百八十九万五千円、国民宿舎つくばね施設整備基金積立金一千八百八十二万六千円、町道飯塚・山崎線等の工事費二千八百万円、金指地区の防火水槽工事費三百一十一万円、恋瀬小学校のフェンス設置工事及び擁壁設置工事費四百九十九万五千円、有明中学校水道工事及び南中学校校所改修工事費一千二百四十万九千九百円、園部中学校冷暖房設備等工事費三百四十万四千円、園部中学校備品購入費五千七百七十六万三千円などを補正増。ふれあいの森整備事業調査委託料六百六十九万五千円、道路工事等に伴う補償費六十七万七千円などを補正減するものです。

町道3路線を廃止に

大字宇治会村子地内の町道がほ場整備事業の実施に伴い廃止に、また、大字東成井字上新田、大字上林字栗の木立地内の町道（行き止まりの道路など）が廃止になりました。

辺地にかかる公共施設の

整備計画書を議決

国民宿舎つくばねの敷地内に計画しているファミリーズポーツ公園整備事業（総事業費四千四百五十四万六千円）が辺地

に係る特別措置法の適用を受け、辺地対策債の借入ができることになったため、申請に必要な「辺地に係る公共的施設の総合整備計画書」について議会の議決を得ました。

この辺地対策債は、元金償還金の八〇%相当額が普通交付税に加算される地方債です。

元年度の水道事業会計

決算書が認定に

平成元年度の水道事業会計決算が認定になりました。元年度中の水道給水件数は五、五六七件、給水人口は二六、二二六八人、前年度に比べ給水件数で二二九件、給水人口で三六七人の増です。

水道事業会計は、収益的収支（給水事業）と資本的収支（建設事業）の会計に分けて運営されますが、まず収益的収支の収入総額は三億八千三百九十一万四千九百八十五円、支出総額は四億一千九百八十五万七千二百七円となりました。（消費税を含む）

内訳は、収入が水道使用料一億二千三百九十五万五千七百七十五円、新規加入者分担金等一千八百九十五万七千七百七十二円、預金利息一千七百七十八円、一般会計からの補助金一億三千四百二十二万四千三百六十九円、過年度損益修正益十四万二千三百五十四円など。支出は、広域水道用水からの受水費五千六百七十九万二千三百七十七円、水の浄水及び給配水費三千三百四十二万一千四百五十円、

給配水施設の維持管理費三百四十五万三千六百四十四円、人件費等六千三百七十七万六千七百七十一円、施設の減価償却費九千二百七十七万三千九百七十七円、起債の支払利息一億七千六十万五千九百三十八円、過年度損益修正損五十九万一千二百十円など。収支差引残金三千九百八万四千四百円（仮払消費税より仮受消費税の方が三十四万二千二百七十八円ほど多いため、消費税込みの収支では差引残金三千五百九十四万二千二百二十二円となるが、消費税を除くと三千九百八万四千四百円となる）は純損失となります。

資本的収支は、収入総額が一億九百九十四万四千円、支出総額が一億六千四百二十二万八千五百五十四円となりました。



住民の方や議員さんが見守る中で行われた下青柳の産廃掘削調査

び林地区へ送水する送水管工事などに伴う国や県の補助金一千九百七十三万四千円、水道債の借入金六千五百五十万、工事等に伴う一般会計からの出資金一千八百六万四千円など。支出は、工事費等八千四百九万二千四百八十九円、水道事業債の元金償還金二千三百三十二万八千三百二十六円などとなっています。なお、この収支で収入の不足分は、当年度分損益勘定留保資金で補われます。

下青柳の産廃不法投棄に 関する特別委員会を設置

議会最終日の二十一日、下青柳地内へ投棄された産業廃棄物の早期解決を図るために、島田重郎議員より「下青柳地内産業廃棄物不法投棄に関する調査特別委員会設置」の動議があり、全議員の賛成により同調査特別委員会の設置が決まりました。

特別委員会は、地方自治法第百条の規定に基づき設けられたもので、大久保芳太郎（委員長）、大場長一（副委員長）、仁平二郎、海野重俊、矢口喜七、伊藤昌次郎、島田重郎、桜井盾夫、川井伸夫、松崎唯夫の十名の議員によって構成されます。

委員会での調査事項は、

(1) 投棄対象となった当該地は総面積七、六五四㎡の内農地六、八二六㎡でありその農地法第五条第一項に基づく行政事務に関する事項

(2) 産業廃棄物の処理及び清掃に関する法

律の第二章一般廃棄物及び第四章雑則に基づく行政に委ねられた事項に関する事項

(3) 土地改良法管理規程の第五七条の二に基づく行政事務に関する事項

(4) 産業廃棄物不法投棄の広報内容に関する事項

の四点です。

特別委員会による調査は、議会の会期にかかわらず調査終了まで行われます。

決 議

暴力追放に関する決議

最近、下青柳の産廃不法投棄をかくすために住民の方を脅かしたりする暴力行為が見られましたが、人口の動態をみるときに外部から不良グループが入ってきたり、またこうした暴力行為が起らないとも限らない、八郷町は行政と住民が一緒になって暴力行為のない町を作ろうと「暴力追放に関する決議」案が島田重郎、大場長一、川井伸夫の三議員から提出され、全議員の賛成によりこの決議案が可決されました。

産廃の完全撤去による

原状復帰に関する決議

下青柳地内の産廃不法投棄においては、汚染された湧水が下流に流れ出して公害が発生し、地下水の汚染が心配されている。地域の人たちの不安は大きく、議会

教育委員の選任など五議案を可決

十月二十二日に第四回臨時会

に産廃の完全撤去を要する陳情書も提出されている。わたしたち議会議員は住民の代表として、地域の皆さんの要請に一丸となって努力していこうと「下青柳

十月二十二日、町議会第四回臨時会が開かれ、町長は専決処分承認を含む五つの議案を提出、全議案が可決（承認）されました。

主な内容は次のとおりです。

議

案

一般会計補正予算（専決）

今回の補正予算は、九月二十一日に議決された下青柳地内産業廃棄物不法投棄に関する調査特別委員会の経費と交通情勢調査委託事業費の計上によるもので、一般会計予算の歳入歳出にそれぞれ二百八万六千円を追加し、予算総額を七十二億八千四百九十六万七千円としました。

歳入では、県支出金四十三万五千円、前年度繰越金百六十五万一千円、歳出は、調査特別委員会費百六十五万円、交通情勢調査委員謝金等として土木総務費に四十三万六千円を補正増したものです。

国民健康保険特別会計補正

今年の健康まつり実施に伴う補正で、国保特別会計の歳入歳出それぞれに五十

地内産業廃棄物の完全撤去による現状復帰に関する決議」案が島田重郎、大場長一、矢口喜七の三議員から提出され、全議員の賛成により可決されました。

万円を追加し、予算総額を十六億九千九百五十万円としました。

歳入は、前年度繰越金を五十万円増額し、四千五十万円に。歳出は、健康まつり委託料として五十万円を疾病予防費に補正増したものです。

教育委員会の委員に

根本・足立の両氏を再任

任期満了に伴う教育委員会委員の選任議案が提出され、小幡の根本興元（61）さんと小屋の足立作右衛門（53）さんの



根本興元さん
(小幡・61歳)



足立作右衛門さん
(小屋・53歳)

ふれあいの森展望塔の請負契約に関する議案

両氏が議会の同意を得て選任されました。お二人は共に再任になります。

フラワーパークのわきに建設予定の「ふれあいの森」の中心施設である展望塔（建設）工事の請負契約に関する議

案が提出され、可決されました。

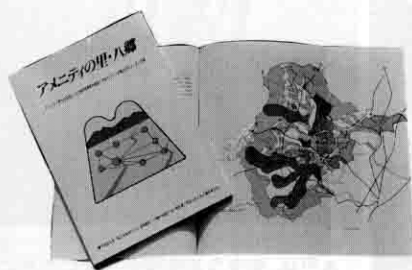
入札は、十月十八日に六社によって指名競争入札が行われ、石岡の興民建設株式会社落札、落札額四千三百五十七千円で請負契約を結ぶというものです。

（注）大場議員は、一身上都合により十月二十五日議長に辞表を提出、三十一日付で受理され退職されました。

商工会が町の将来像を模索する “アメニティの里・八郷”を作成

八郷町商工会（会長永井清）では、二十一世紀を展望した町のビジョン（将来像）作成事業に取り組んでいました。これがこのほど「アメニティ（住みよい）の里・八郷」という冊子にまとめられ発行されました。

商工会では、「地方の時代といわれる今、当町も特性を生かした町づくりが必要」と、県や町の補助を得て筑波大学の佐藤守弘教授や茨城大学の斎藤義則助教授らにコンサルを依頼、作られたものです。



冊子は、七十八ページにおよび「第一部八郷のあらまし・土地利用と住民の意向」「第二部まちづくりの基本的な目標と課題」「第三部アメニティ再生を目標にした土地利用構想」「第四部重点プロジェクト」「第五部今後の課題」と五つの項目に分け、町の将来像が描かれています。

なお商工会では、この冊子の残部がわずかにありますので、希望者に贈呈したいと話しております。希望の方は、商工会（☎四二一〇二四七）へお申し込みください。

“産廃” むけ現場を掘削調査



▲最初の掘削場所は、表土を20センチもめくるとゴミの山。太いホースのように見えるのは、生コン等の圧送パイプでしょうか。
▼木くずやタタミなどの建設廃材と共に紙くず類も掘り出され、中には伝票なども見つかりました。



▲町は、撤去など今後の対策のために投棄現場の掘削調査を実施、地元の住民や関係者の見守るなかで調査が行われました。

“産廃”

調査特別委員会

早期解決に向けて 3回目の委員会を開く

下青柳地内産業廃棄物不法投棄に関する調査特別委員会が、10月17日、10月29日、11月7日に開かれ、役場など関係機関から聞き取り調査が行われました。

最初の10月17日の委員会は、まず特別委員会での調査の進め方等について委員さん方の話し合いが行われ、午後は、委員さん方が全員で投棄現場を実地に調査。次回調査に向けて、役場関係各課に資料等の請求と説明員の要請が行われました。

第2回目の10月29日の委員会では、関係各課から提出を求めた資料等に基づき、農業委員会事務局、土地改良課、商工観光課、広報課の各課長から経過や事情等の聞き取りが行われました。

第3回目。11月7日の委員会では、県の農地部農地管理課、同環境局環境管理課、県南総合事務所環境保全課の職員及び町建設課長からこれまでの経過や対応などについて聞き取りが行われました。

調査特別委員会は、産業廃棄物不法投棄の問題が現在に至るまでになった経過などについて、これからさらに調査が行われますが、次回は、11月19日と11月29日ごろに開かれる予定です。傍聴を希望する方は、議会事務局に日程等を確認のうえお申し出ください。



10月29日の調査特別委員会

下青柳の 撤去に

町では、これまで下青柳地内に投棄された産業廃棄物の完全撤去に向けて対策を練ると共に継続して下流水路の水質調査を実施してきましたが、「廃棄物の中に何が捨てられているのか心配だ。ボーリングや掘削調査をしてほしい」という地元の要望や投棄物の内容の把握と撤去等今後の対策などのために10月15日に投棄現場の掘削調査を行いました。

当日はあいにくの雨模様の中、地元住民の皆さんや関係者約八十人が見守る中、大型バックホウによって五カ所を掘り起こし棄てられたものを細かく調査しました。

掘削現場は、いずれも表土を

二十センチから一メートルほど剥ぐと、もうゴミの山で五カ所とも約三メートルから八メートルほど掘削しましたが、掘り出されたものは、木くず、タタミ、タイル片など建設廃材と思われるものを中心に、紙くず、古タイヤ、ビニール類、ゴム製ホースなど雑多な廃棄物がほとんどで共にほぼ同じ内容でした。

これら掘り出されたものは、みんな一度焼却したもののようには黒く見えましたが、掘削に立ち会った県公害技術センター職員によれば、廃棄物が土の中で酸化し、燃かすように黒く見えるのだとのことでした。また、どの場所からも地下水が湧き出しており、これらの廃棄物と

汚水は県公害技術センターの職員がサンプルを採取し、現在分析を進めているところです。

掘り出された紙くずの中には伝票類なども混じっており、これから会社名などが判明したものについては、順次呼び出しを行い、必要書類の提出を求めるなど事情聴取をし、搬入ルート

五月から毎月実施している下流水路の水質検査では、現場にテスト用の浄化槽を設置した効果もあり、有機質の汚れもだいぶ低くなりつつあります。

なお、掘削した跡は分析結果が出るまでそのままにしてありますが、掘削した穴も深く危険ですので、特に近所の方は子供

たちが出入りしないよう注意をお願いいたします。

町では今後も関係機関と連携を取りながら、「産廃」の完全撤去がいち早く実現できるように対処してまいります。こうした不法投棄を防ぐにはまず住民の皆さんの自覚が大切です。町は、今回のようなことが今後二度と起こらないよう環境保全監視員制度を作り、九月二十五日、区長さんや環境問題に深い関心をお持ちの方など二百五十名に委嘱いたしました。皆さんも「くぼ地をただで埋め立てて畑にしてやる」などという甘い言葉には絶対のらないようにしてください。

明るく豊かな地域を目指して

「ボランティア養成講座から」



十月十日から五回にわたりボランティア養成講座が開設されました。

講師は、土浦市在住の岡山初子先生で、岡山先生は

県教育委員の要職を務めるかたわら地域のボランテ

ィア活動のリーダーとして、長い間地域づくりに貢献され、多くのボランティア活動家を育ててこられた方です。

今回の講座を受講されたのは、二十歳代から六十歳代まで男性一人を含む十二名の方です。



ボランティア養成講座

われたりしますが、この場合してやるといふ態度でなく、平等に引き出し合い育ち合うという精神を持つことが大切だといえます。

◎小さな行政をめざして

社会が発展するに従い、行政に対する住民の要求は増大してきましたが、それに対処するためには増税をし、行政を大きくしてゆかなければなりません。しかし、住民一人ひとりがボランティア活動として行政に参加していけば、逆に減税、行政の縮小の方向に進み、より豊かな社会が期待できるのではないでしょうか。

◎ボランティア活動をする時は

●自分にあったボランティアを楽しく行う

●家族に理解されるボランティアを行う

●一人で行うより、多くの人たちと広がりをもつて行う

先生は、以上のようなことが大切だと話されました。

講座に参加した受講生たちは、学んだことをむだにしないよう定期的に集まり、自分たちでできそうな活動があったら取り組んで行くことになりました。ボランティアに関心をお持ちの方は、ぜひ参加してください。

お問い合わせは、中央公民館(☎四三二六二六二)まで。

町の民俗資料紹介 (5)

地名で浮上した幻の伊志良館

八郷町は、鎌倉時代に館の荘とも呼称されたと古文書にあります。町には多くの館があったわけですが、館主や城域など不明確な館跡が大部分で、町の史跡に指定されているものもわずかです。今後の調査研究が待たれる分野です。

ところで、幻の館の一つが今回の調査で浮上しました。

【位置】下林藤ノ宮。林小学校西方、県道バス停根小屋入口西南域約四ヘクタール。

【館主】伊志良氏。小田氏の一族で、上曽の古称伊志良に定住したため、伊志良と称し、この地に移住。

【時代】鎌倉期。



伊志良氏がこの地に住んだ期間には明確ではないが、上曽地区の伊志良館と推定される場所の堀跡等が明確なのに比較し、この館跡は地籍図等で読みとれるものの、堀などの遺構は小規模で短期定住と推定されます。

その後、関ヶ原の決戦に加わり、戦功により岐阜市外に領地を与えられました。現在の山県郡伊自良村です。さらにその後北畠氏の配下となり、雪深い福井の地で活躍したとのこと。

伊志良氏の氏姓となった上曽の地名のいしらは「井白」で、清らかな水の流れる里の意です。自然の流水を飲料としていた当時の人々にとって、伊志良の里は住みよい環境であったに違いありません。伊志良氏の祖小田氏は宇都宮を支配した豪族で、京都から下った藤原氏の子孫です。館内に藤の宮を祭り、移住後も宮が残り、小字名となったと推定されます。

館の正門の大手は、筑波を望む西方で、馬場、宿(配下の住居)など、館を囲む地名が付近に残り、七百年の歴史をとどめています。

町文化財保護審議会委員 軽部豊

林小の磯山さんと笹沼さん

全国手紙作文コンクール入選

郵政省が全国の小中学生を対象に行っている手紙作文コンクールで、林小学校六年生の磯山明美さんが、小学校高学年の部で日本郵便友の会協会長賞を受賞、また、同じく四年生の笹沼直子さんが努力賞を受賞しました。



磯山 明美さん



笹沼 直子さん



永井 ひと美さん

点以上という多数の応募があり、そのうち小学校高学年の部には約四万一千点の応募がありました。

磯山さんの作品は、夏休みに町ライオンズクラブが行った、加波山に親む会に参加、そのときの感動をライオンズクラブの皆さんにお礼の手紙として作文にしたもの。また、笹沼さんは、子ねこを拾ったおばあさんの物語を読んで手紙感想文にしたもので、受賞の喜びを二人とも「とってもうれし

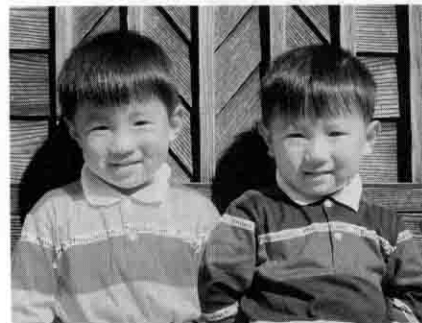
いです」と元気に答えてくれました。

園部小の永井さんも

全国作文コンクール県代表に

また、読売新聞社主催の全国小中学校作文コンクール県コンクールで、園部小学校一年生の永井ひと美さんが小学校低学年の部で入選、県代表作品として全国審査に送られることになりました。

ひと美ちゃんの作品は、夏休み、お花が大好きなおばあちゃんをはじめ家族みんなが一緒になって、あさがおの花を三百五十個以上も咲かせた話を作文にしたものです。



東成井

塚原 智史(長男)ちゃん
達也(二男)ちゃん

父 和宏さん 母 愛子さん

昭和63年9月16日生まれの子

♡家族からの一言

一人のときは普通の子でも、二人そろえば元気もりもり。

これからも二人仲良く、健やかに成長してほしいと思います。

尿に糖が出ると言われたが

お答え 石岡市医師会病院
糖尿病外来 後藤厚医師



町の健診で尿に糖が出ると言われたのですが、別に何の症状もないんです。本当に糖尿病なんでしょうか。(主治会 M男)

処理が不十分となり、処理できない糖が血液中にたまってしまいう病気です。

糖尿病は、インスリンというホルモンの働きが低下するため、糖質・タンパク質・脂肪など人体にとって大切な栄養素の

逆に、脳や筋肉など糖分をたくさん必要とする臓器に栄養不足が生じます。また、血液中に増えた糖分は全身を巡り、全身の血管を傷害しつつ、徐々に尿の中に捨てられてしまう訳です。

糖尿病では、遺伝的な素質も原因として重要で、血糖が高いままで長時間放置しておくと、知らず知らずのうちに重症となり、致命的な合併症を招くこととなります。なかでも、脳・心臓・四肢の動脈などの太い血管や、眼の網膜・腎臓の血管などの細い血管からの出血や閉塞など、血管の病気が重要です。脳こうそく・心筋こうそく、腎不全などの直接命にかかわる病気がなったり、失明など生活の上でたいへん支障となるような症状をきたしやすいわけです。

糖尿病の患者さんは、のどが渇くとか、尿がたくさん出るなどと訴えることもあります。一般には自覚症状に乏しく、相当に病気が進行してからでないと自分ではわからないことが多いのです。「尿に糖が出ると言われても症状がないから……」などと安心していただけないのです。

薬剤によって糖尿病になったり、腎性糖尿といって腎臓が悪いために尿に糖が出たりする場合もあります。健診などで尿に糖が出ると言われたとか、親や兄弟、親戚に糖尿病の人がいるなどという人は、できるだけ早く専門の医療機関で精密検査を受けてください。

●専門医にきく



わがやの
アイドル





みんなの広場 皆さんが作るページです。あなたの作品をお寄せください。

図画・イラストコーナー



上青柳 木崎共子 (12)



山崎 鈴木悠久子 (11)



柿岡 鈴木幸恵 (7)



柿岡 松川亜希子 (9)

私も

ひとこと

つ い先月、青森県でアミメニシキヘビが逃げ出して大騒ぎしましたが、私たちの住む八郷には、あの猛毒を持つマムシがいます。

今年も、稲刈りのころ何人かの人に見かけたと聞きました。子供たちもよく田畑の方へ遊びに行ったりするのでとても心配です。これからどんどん増えていくのかと思うと恐ろしくなります。町の方で何か対策はないのでしょうか。

片野 匿名希望 (35)

◆今のところ対策はありません。お母さん方から、子供たちにマムシの出そうな所へは近づかないよう、注意してあげてください。なお、もし、かまれてしまった場合は、八郷ライオンズクラブから寄贈されたマムシの血清が、八郷消防署に保管されており、すぐ連絡してください。

習字コーナー

評 日本教育書道連盟審査員 岩波芳水

吉生小二年 飯岡 佑紀

小幡小四年 木崎 裕一

二年 飯岡佑紀
さあ づい

四年 木崎裕一
小白馬

力強い線がよく書けています。

スケールの大きい、すっきりした作品です。

先

日、群馬から十人の方がわが家に来ました。都市に住む人々なので庭から眺められる筑波の峰や、高台の畑からの加波山や足尾山に歓声をあげてくれました。秋の盛りの柿が日の光を受けて輝いているのを見ながら「自然に抱かれない所ね。うらやましい」と言ってくれました。

私もおいでくださる方々のために、町の史跡、歴史、観光、交通などについて学んでおきました。より良い印象を得てお帰りいただくためには、自分が町の良さを知らなければなりません。(中略)

お金をかけずに作った自家生産物の赤飯、さといもの煮つけ、きんぴら、けんちん汁等に「今の世に最高のご馳走」と喜んでくれました。

国民宿舎「つくばね」に泊して、二日間フラワーパークを初め、八郷町を見学しました。(中略)

柴間 杉山はつ (69)

フラワーパークの
入場券がペアで当たるよ

広報クイズ 32

3つの答えの中から正解を選び、
ハガキに書いて送ってください。

①下青柳産廃不法投棄調査特別委員会の委員は何人？

(A) 5人 (B) 10人 (C) 15人

②町民綱引き大会は、ことしで何回目？

(A) 3回 (B) 5回 (C) 8回

③サザンカは何科の植物？

(A) バラ科 (B) ツツジ科

(C) ツバキ科

【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ32と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」への意見や広報の感想などを
書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から抽選で10名
にフラワーパークの入場券をペア
でプレゼントします。

☆締切日 平成2年12月15日

☆当選者の発表 本紙1月号

【広報クイズ30の当選者発表】

正解は1-B、2-A、3-Aでした。
応募27通、正解27通の中から次の
10名が当選しました。

小原とく(片野) 飯田恵子(小幡)
飯岡千明(吉生) 金敷武(根小屋)
荒井玄寿(吉生) 山口智宏(上林)
関美代子(片野) 鈴木友和(山崎)
木崎共子(上青柳) 木崎優子(下
青柳) 一敬称略



青田 菊地真由美 (9)



中戸 市村真由美 (12)

●やさと文芸

短歌

吉田次郎選

精出して作れる菊も順調に伸びて鮮やかな花の咲き初む

東山崎 小松みき

秋の夜に列車遠のく音きけば心かよえり吾が淋しさに

東成井 大和田 利

刈取りの終えし田の畔に秋の日のしみらわたれば蝶の出で舞う

宇治会 大山松 枝

俳句

綿引鼓峰選

雨音の中にかほそき虫の声

東山崎 鈴木君 江

夫の忌の近づく夜々の虫しげし

東成井 小島 せん

天高く一筋白し飛行雲

東成井 斉藤 愚 鈍

俚謡

大木嶺月選

客を交えて炬燵の和合娘緑談本決まり

上曾 足立 喜一郎

これも楽しみ腰曲げながら値など気にせぬ栗拾い

東成井 小島 せん

庭の木々さえ年輪重ね人も見上げる力持つ

柿岡 上曾 酔 人

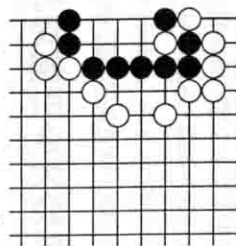
有段を目指して

詰碁出題 九段 武宮正樹

白先黒死・五手まで

ヒント＝ウツテガエシ

3分で1級、1分で有段者。



詰碁出題 八段 北村昌男

ヒント＝玉方の竜には触れずに、

攻めたいものです。

10分で2級、5分で初段。



●まちの話題・できごと

いのしし二頭を捕獲しました

小幡、小桜地区の山沿いを中心
にいのししが出没、稲や果樹、野
菜などの農作物に大きな被害をお
よぼしたため、町では、これら有
害鳥獣の駆除を実施しました。
駆除は、九月二十九日から十月
八日までの十日間にわたり、町有
害鳥獣駆除隊員二十名の皆さんが
交代で行い、上青柳地内の山中で

いのしし二頭を捕獲、また、八郷
全域でカラス約百五十羽を捕獲し
ました。

このいのしし、一時、豚コレラ
の影響で少なくなったというこ
とですが、また数年前から増えは
じめており、農家の皆さんの悩み
のタネとなっています。



身近な出来事や地元の
話題をおよせください
(連絡先・広報課 内線二一六)

息の合った演奏に盛んな拍手

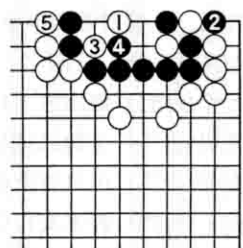
新治郡小中学校音楽発表会が、
十月十六日、当町の中央公民館を
会場に、郡内各町村から代表とし
て選ばれた小学校十校と中学校五
校が出場して行われました。

町からは、先きの町音楽発表会
で代表に選ばれた、瓦会小、東成
井小、林小、吉生小、南中、有明
中の六校が出場。この中から、さ
らに南中学校が郡内中学校の代表

として選ばれ、十一月下旬に行わ
れる県大会に出場することになり
ました。(小学校の部は新治村山
の荘小学校)

発表会では、小学生が合奏、中
学生が吹奏楽を披露しましたが、
各校ともピタリと息の合った演
奏を披露、応援にかけつけたお母
さんから盛んな拍手が贈られまし
た。

有段を目指して 解答



詰碁正解 白1のオキがウツテガ

エシ狙いの好手、黒2のとき、白
3のキリから5まで。

詰碁正解 5一竜、2二玉、1

一竜、同玉、1三香、2二玉、1

二角成まで7手詰め。

〈解説〉 5一竜に3一合駒なら同
竜以下、容易です。2二玉と逃げ
るのに対し、1一竜が妙手。なお
5一竜、2二玉、3二角成と攻め
ては玉が4筋5筋に泳いで行き、
詰みません。

町民綱引き大会成績

第三回町民綱引き大会での各優
勝チームは、次のとおりです。

▽小学生男子 園部スポーツ少年

団 ▽小学生女子 小桜小五・六

年生混合 ▽中学生男子 有明中

選抜 ▽中学生女子 柿岡中一年

生 ▽一般男子 芦穂小スポーツ

少年団父兄 ▽一般女子 園部マ

マさん



郡操法大会八郷町がみごと優勝

第四十一回茨城県消防ポンプ操法競技大会新治地区大会が、十月十九日、玉里村の総合運動公園で行われ、町代表チームがみごと優勝しました。

大会には、郡内各町村から小型

の部五チーム、自動車の部七チームが出場。町代表として出場した第一分団第四部（柿岡）が小型の部で優勝したものです。また自動車の部で出場した第五分団第一部（瓦会）も三位に入賞しました。



広げようお母さんたちのワッ

十月十日の「体育の日」、婦人会のお母さん方約二百五十名が集まり、総合運動公園芝生広場で婦人大運動会が開かれました。

これは、お母さん方の体力づくりと婦人会の各支部間の交流の輪を広げるために行われたもので、今年で九回目。

午前九時三十分から始まった運動会では、タガ回しや仮装競争、綱引き、大玉ころがし、血圧測定、年代別リレーなど十一種目の競技が行われ、会場は元気なお母さん

方の歓声でいっぱいでした。日ごろの家事や仕事を忘れ、すがすがしい秋の一日を満喫しました。



“秋”を満喫町民ハイキング

毎年秋の紅葉シーズンに行われている町民ハイキングが、今年も十月七日の日曜日、四十七名が参加して、日光の戦場ヶ原で行われました。

当初、ハイキングは福島県あだたら高原を予定しておりましたが、

台風の影響のため急きよ日光方面に変更となったものです。

しかし、やはり昼ごろから小雨が降りだし、あいにくのお天気となっていました。参加された皆さんは、鮮やかな紅葉の中、日光の秋を十分に楽しみました。



議会の記事が遅くなってしまう。議会開催時には、すでに十月号の企画がスタートしていたため、間に合わなかった次第です。

▼十月十五日、下青柳の「産廃」不法投棄現場の掘削調査に取材に行ってきました。現場に行くあたり一帯硫黄のようなにおいがし、くぼ地には黒い汚水が溜まっておりました。水質検査の結果では有害物質は検出されていないようですが、地元の方皆さんも現場の状況を見てはやはり心配はつきないと思います。早く問題が解決するようお願いしてやみません。

▼先日、優秀な広報紙を作っているということで、県南の各市町村広報担当者と群馬県の大泉町に視察に行ってきました。大泉には岩瀬君という優秀な職員がいてがんばっています。夜は、明け方の二時ごろまで「夜の泉」を案内してくれました。やはり広報紙のいいところは担当者の情熱が素晴らしい。私も見習わなければと素直に思ったのだいす。

▼この仕事をしていると、町の姿がよくわかるような気がします。何事も相対的に見るようになるからでしょうか。（右）

違和感なく住める町

山崎 桑原敬子さん

問 八郷町へはいつ転入されましたか。

答 昭和五十年十月です。ちょうど十五年たちました。

問 ご出身はどこですか。

答 九州大分県の瀬戸内海に面したところで、主人も同じ大分の出身です。

問 この町へ住むきっかけは。

答 主人の会社が東京から神立の工業団地に移転になり、主人が一年程一人でここに住んでいました。その後一年くらいしてから結婚し私もこちらに。

問 九州へは時々帰られますか。

答 子供が小さいころは年に一度くらい帰っていました。最近は一二年に一度です。

●ようこそ 八郷の仲間 (20)



ます。職場の仲間と和気あいあい充実しています。

問 趣味とか楽しみは。

答 中央公民館講座でワープロやパッチワークを習うことができ、講座生や仕事先の方々と



も友達になれて楽しみです。行動範囲も広くなりました。

問 町への要望は。

答 この住宅地内の幹線道路、いろいろ経緯があるらしいんですが、水がたまったりして皆さん大変っています。何とか整備していただきたいですね。また、下水道ができれば待ち望んでいます。

問 ここへ永住しますか。

答 はい。本籍もここへもつけましたから。

問 この町の総合評価は何点くらいになりますか。

答 住み良い町です。九〇点。

【紹介】東京本社勤めのご主人と子供、二人の四人家族。はきはきとして明るい奥さんです。

園芸教室

鉢植えのサザンカ

茨城県フラワーパーク 木村照夫



サザンカは、ツバキ科の常緑樹で、よく庭園や生け垣に植られ、花の少ない十一月から十二月に白紅、淡紅色の花を咲かせます。ツバキと異なる点は、花首から落ちず花弁を一枚づつ散らします。観賞期間の手入れは、開花中低温が必要なので、降霜までは戸外で低温と日光に当てます。真冬に開花する品種は、霜に当たると花が傷むので開花中だけ軒下や室内に取り込みます。室内で暖房が強いと花の寿命が短くなり、ときには開花せずばみのまま落下することがあります。暖房のない部屋か軒下、ベランダで昼間は十分に日光に当てるとよいでしょう。

水やりは、置き場所にもよりますが、夏季で一日一回、冬季で二日に一回程度。鉢の表面が乾いたらたっぷりとやります。肥料は、鉢替えときに緩効性の化成肥料を二つまみ混ぜておきます。鉢替えは、三月から四月の間に一回り大きな鉢に。用土は、赤玉土か山砂を主体に、鹿沼土かピートモスを三割程度混ぜるとよいでしょう。剪定は、花が終わってから四月までに枝を三〜四葉残して切りつめ、混みすぎた枝は間引いて樹形を整えます。病害虫は、五月と八月に発生するチャドクガに注意が必要。発見したら枝ごと焼却するかディブテックスを散布します。

ときめき

ティータム



斎藤香代子 (18) さん

趣味は、スポーツならなんでも、特にバレー。お花や習字も習いたいと語る社会人一年生。東成井。

